

課題

- ・ ナサニエル・ブランデン著『自信を育てる心理学』（春秋社、2013年）を購入し、一冊を精読しなさい。
- ・ 本書の中の次のエクササイズを行いなさい。
 - エクササイズ 1、6、7、8、12、13、16、17、20、21、23、25、27、28
- ・ 本書を読んで気がついたことについて、自由に述べなさい。
- ・ 提出方法：
 - 課題×切：7月5日（月）午前1時まで。
 - メールにて、樋口(higuchi @ okinawa-u.ac.jp)まで送付のこと。
 - メール表題に「幸福論」「提出者名(あなたの氏名)」を表記のこと。
 - 原則として、ファイルを添付せず、メールに直接原稿をコピー&ペーストしたものを送付のこと（多数のメールを私が確認しやすいため。画像を添付するなど、メールに直接ペーストしにくい場合などはこの限りではない。）
 - レポートは、その内容のみならず、やりとりの全てが評価対象である。人に文章を送るとき、相手からみて、徹底的にわかりやすく、読みやすい文章を送る心遣いは、とても大切な人間力の一つである。提出時の科目名、提出者の名前と学籍番号、課題が出された日付はもちろん、読みやすい字体、文章の意味のまとまりごとの改行、論旨の明確さなど、それがどれだけ面倒でも、丁寧に、相手の気持ちと立場に立ってレポートを作成するように。それは、あなたのためである。
 - レポートの評価は主に2つのポイントがある。第一に、提示された課題図書に対する理解の深さ。そして、第二に、課題に取り組み、行動する際の勇気である。真の勇気とは、例えば：人に「助けて」と告白すること、人に対してNOということ、失敗する覚悟で挑戦すること、恥をかく覚悟で自分を人目に晒すこと、最も気まずい相手と正直に向き合うこと、自分の恐れを認めること、カッコつけていると思われても正しいことを貫くこと、言いにくいことをごまかさずに正直に伝えること、自分の気持ちをまっすぐに伝えること……。言葉を変えれば、カッコ悪い自分に胸を張る勇気、自分のことを無防備に晒す覚悟のことである。なぜならば、無防備に生きることこそが、最も勇気ある生き方だからだ。詳細は、トリニティアップデート「履修のルールと評価基準など」を参照のこと。
 - 本課題が不可であれば、単位を獲得をすることができない。

2021年4月8日掲示

